



アバン仙台 Jr. Youth News 2018年 5月号

第43回



Aの写真、鈴木かなた君(3年)がロングシュートを決めた直後。そしてBの写真になると喜び合う中、もつれ合い主役が転ぶという場面も。チーム一丸でいい試合でした。

結果と向き合う

いよいよ始まったリーグ戦。中学3年生たちは、中学1年生から「基礎技術」のレベルアップに取り組んできました。その成果は少しずつ表れています。ですが、選手同士のタイミングの部分だったり、もう一手二手と丁寧に選手がプレーに加われば面白くなる部分、ゴールに向かえる部分があります。そういった連係をリーグ戦後半に向けて修正していきます。また、我慢の時間帯に足が止まり、失点し反省点を生かして今回の勝利につながりました。この経験を生かし、更にチームを強化して1戦1戦を戦いぬきます。今後とも応援を宜しくお願いします。

今後に向けた課題

①「基礎技術の習得」⇒ ②につながる部分なので最優先です。

今のチームの個々の能力を総合力としてまとめるのであれば、まず「ファーストコントロール」の安定感、「ドリブルで前にボールを運ぶときも、相手の足に当たらない質」にしていくことです。

②「連係のレベルアップ」それによって

もっと狙い通りにゴールに向かってチャレンジする機会も増えます。「ドリブルで仕掛けたり、向きを変えた選手へのサポートのタイミングとポジショニングの質」、コンパクトなパス回しに「プレー方向を変えるなどメリハリをつける選手」「ゴールに向かって仕掛ける選手」が自然と出てくるのがチームの熟成度を上げてくれると信じています。

そのために「選手同士でトレーニングから高いレベルを持つ」というところも大事にしていきましょう。

4月リーグ戦結果

【MJリーグ】

- ・4月7日(土) VS 仙台FC (アバン 1 : 2 仙台FC)
- ・4月14日(土) VS コバルトレ女川 (アバン 0 : 3 コバルトレ)
- ・4月21日(土) VS 名取一中 (アバン 0 : 2 名取一中)
- ・4月28日(土) VS DUOパーク (結果は後日、6月号に掲載)

【クラブユース選手権 日程】

- ・4月22日(日) VS 仙台FC (アバン 1 : 0 仙台FC)
- ・4月29日(日) VS 青葉FC (結果は後日、6月号に掲載)

リーグ戦、まだまだ序盤

次の対戦に成長が試される

平成30年度 ジュニアユース U13



3月末から活動が始まり、早くも約1か月が経ちました。

様々な期待と不安を抱えながら21名の選手が、アバンツアーレに入団してくれました。期待に膨らみ目指しているもの・なりたい自分を持っている選手もたくさんいます。すごく良いことです。

ですが、目標を達成するための方法は、自分しかできないことを忘れてはいけません。誰かがやってくれるわけではありません。自分がやらなければ目標を達成することはできないのです。だからこそ、日々の取り組みがいかに大切な、早く理解して行動に現れる選手が一人でも多くなることを期待し、熱く厳しく、ともに成長して行きたいと思えます！

【Where there's a will, there's a way.】(意志あるところに道は開ける。)

これは、どんなに困難な道でもやり遂げる強い意志さえあれば必ず道は開ける。という言葉で、アバンツアーレの合言葉です。

これからの3年間は、嬉しいこと・悔しいこと・楽しいこと、様々なことが起こると思えます。どんなことが起こっても自分たちの目標がブレることなく、絶対達成してやる！という強い意志をもって日々の生活から取り組んでもらいたいと思います。

目指すは、『全国大会出場』です！

今後ともアバンツアーレジュニアユースの応援もよろしくお祈りします！

5月リーグ戦 日程

【MJリーグ 日程】夏、そして後半戦まで気持振返りません。

- ・5月6日(日) VS ACアズーリ
会場:松島フットボールセンター 16時30分
- ・5月13日(日) VS ACエポルティエポ
会場:松島フットボールセンター② 14時30分
- ・5月19日(土) VS FCみやぎ 2nd
会場:七ヶ浜スタジアム 13時

【クラブユース選手権 日程】目指せ！東北大会

- ・5月12日(土) VS リパルタ
会場:七ヶ浜サッカースタジアム 9時30分
 - ・5月20日(日)と5月27日(日)は順位決定戦。
- ※ Facebook でも試合結果、日程をお知らせします。

良い習慣を身につける

ジュニアユースでは、「自主性」を身につける前の段階である中学生年代で「良い習慣」を身につける取り組みをしています。

この良い習慣を獲得することが、夢や目標を実現するためのポイントとなると信じ取り組んでいます。その取り組みは5つ。

- ①自主トレーニング...選手の自主性のもと、自己発見し、自己修正できる力を養い、プロに挑戦できる選手の育成。
- ②自主学習...学校の宿題はもちろん、取り組んだほうがよいと感じたことについて取り組んだりしています。「文武両道」
- ③毎日の報告...毎日の自己評価。その評価から生活全体を見直し、勉強とサッカーの両立にあきらめずにチャレンジします。
- ④サッカーノートの活用...自分自身を見つめ直す。コーチとのコミュニケーションツールの一つ。悩み相談もOKです。
- ⑥チーム学習...月1回実施。選手同士での活動へのモチベーションを高め、「尊重」する関係を築きチームの和を形成します。

テクニカルスクールの紹介

●テクニカルスクールってどんなスクール？

テクニカルスクールとは、高い技術レベルを有した小学4年生～中学3年生の選手が徹底的に技術を磨くスクールです。

小学生は中学生と一緒に練習をすることで、テクニックや観察力・判断力を磨き、中学生はフィジカルなどに頼った勝負をせず、テクニックの質とコントロールのスピードなどを磨く。お互いに選手として尊重し合い、そして刺激し合えるスクールです。

所属チーム以外の場でテクニックを更に磨きたい小学生や、部活以上のハイレベルな練習をしたい、向上心の高い選手たちが集まっています。

●テクニカルスクール体験を考えている皆さんへ

各練習会場担当者まで体験を申し出てみてください。対象となる学年の選手であれば体験は可能です。ただ、申し出る前に真摯に誠実に今の自分自身と向き合えることです。中学生のプレースピードや体格にも恐れずタフにプレー選手であってください。上記に書かれているようにお互いの持つレベルで刺激し合しましょう。

そして、トレーニング意識、自己修正能力も大事です。担当するコーチと技術、そしてサッカーについて会話していきましょう。まずは今の100%でぶつかってみましょう。

【練習会場の紹介】

①名取会場(アバン室内練習場)	月曜日～水曜日	19時～20時30分
②荒井東会場(SPIA)	火曜日	19時～20時30分
③長町会場(フットメッセ長町)	水曜日	19時～21時

ある日の再会エピソード

今回ご紹介するエピソードは、山形第4中学校とのトレーニングマッチでのこと。そのトレーニングマッチは中学3年生の富永澤雅(れいが)くんが所属していたTNの監督さんにお誘いいただき実現しました。

その監督さんと山形4中の先生とのお話の中で、どうやら澤雅くんが小学生の頃、チームの取り組みでホームステイをした際にお世話になったご家族の息子さんがサッカー部の一員として来ていると。名前は「みずき」くん。奇跡的な再会の場面に遭遇しました。2人とも少しハニカミながら挨拶し、気持ちのよい再会のあとおもいきりプレーして過ごしました。

こういったサッカーを通して繋がる関係。とても気持ちのいい時間となりました。みなさんもサッカーを通じた出会いを大切にしましょう。



試合前の交流写真

ホームステイの思い出

小学6年生の頃、とがしみずき君の家に僕とチームメイト1人が1泊2日でホームステイをしました。

とても楽しかったのを覚えています。当時のことを思い出すといい経験となりました。

みずき君の家では一歩も外に出ずにゲームをして過ごしました(笑)。それも低学年だったみずき君の弟と僕のチームの仲間4人ですとです。

ただ、僕には兄弟がないので、弟と遊ぶのは経験ができたことも楽しかったのかもかもしれません。それに当時は今の僕のように携帯電話を持ち歩くわけでもありませんでしたから、家族との会話が今よりも出来ていると思うと、家族でない人の親と話すこともよい経験になったと思いますし、今の自分ももっと家族との時間を大事にできたらと思います。

その他にも、食事の時間になればすでに食卓に並び料理、ご飯もよそってあります。当たり前なのですが、今の自分が大きくなれたのも親の支えがあったからだ、今ならもっとわかります。

そうしたとていい時間を6年生の時に僕は経験できました。ホームステイだからではなく、今の活動に対してもこうしてサッカーができていたことを親に感謝して、経験させてくれたチームの監督、お世話になったみずき君や家族の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず大事にして中学3年生となった自分をもっと成長できるように取り組みを頑張ります。

これから僕たちの応援をよろしくお願いします。頑張ります。



れいが みずき くん くん

テクニカルレポート

前回のパスを足元に誘う動作に続き、第二弾として紹介するのは、スペースでゴールに背を向けた状態、あるいは前方から相手のアプローチがきた状態で前方にパスコースが選択できない状況で向きを変える場合、更にサイドに身体を向けた状態から反対のサイドに向きを変える際のボールの誘い方についてです。

まず「A」の写真、ボールを基本通りヘソの前でボールを受けようとしています。

この際にしっかりインサイドの「面」をしっかり固定するために、足首に力を入れておくことが、「B」の場面で大事になります。

※ ここで、前もって伝えておきますが、軸足になっている左足の位置を「A」から「C」まで順番に見比べてみてください。

そして、「B」の写真、Aで最初にボールを止めようとしていた位置より軸足と並行になるところに誘い始めます。

この際のポイントは前述した足首の固定の加減と、ボールを誘いたい方向に身体を反転させていくことです。「B」の写真では向かって左の方向に身体を開き始めていますね。

このようにボールを誘う足と身体がボールの近くで身体も連動して動くことが大事です。ここは一つ大きなポイントです。

そして、最後に「C」の写真。身体の向きは後方に向き、ボールを置く位置もしっかり次のプレーに備え、コントロールしやすいところにあることが大事です。

更に、「※印」で前述したように、Aから順番に見ていく軸足となる左足の足元にある白い横ラインを見てみましょう。

最初は、白いラインを踏むくらいの位置にあった軸足ですが、「C」の写真の場面では後方に移動しています。

このコントロールをレベルアップするためのポイントとなる重要な部分です。こういったコントロールで見落としがちなのがこの軸足とボールの関係です。向きを反転させボールを後方へ向ける際に軸足を止めたままだと、ボールは動かすことはできても、動かした先への次のプレーとなるパスやドリブルまでが遅くなりがちです。

そのため、コントロール後に軸足とボールとの距離が離れた大腿に近い状態になりやすいので、ボールを後方に向ける動作と同時に軸足が地面を擦るように一歩ステップを入れることで、ボールと軸足の距離が安定した状態で方向転換することができます。

何かの参考にしてもらいながらファーストコントロールを上手くできるようにレベルアップさせてみましょう。プレースピードと精度はファーストコントロールで決まる。高めていきましょう



元の位置

畠山コーチからの挑戦状

コーチから皆さんに挑戦状です。それは、『片足で2タッチずつ交互にリフティング』です。数え方は左右交互にできて1回とします。

●ポイント：片足で2タッチするまでは足を地面にはつけません。それを軸足の「重心」と「ボディバランス」、そして「インステップ」でほぼ無回転になるように蹴ります。

「ボールの芯」をしっかりインパクトする感覚も大事にしましょう。

現在、ジュニアユース3年生の佐藤さつき君(中3)が『80回』です。みんなも挑戦してみよう！クリアした選手はコーチまで！！ささやかですが、コーチから「なにか」をプレゼントします。